

情報活用能力育成のための指導事例【小学校 第5学年 国語】

単元・題材名	豊かな言葉の使い手になるためには	指導時間（本時）	3～4/14
本時の目標	教科・科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳しく知りたいと思うこと、また、それに当てはまる人について、インターネットや二冊以上の文献等で調べ、それらを必要に応じてメモすることができる。</li> </ul>	
	情報教育 (3観点8要素)	<p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブラウザの基本機能（リンク・戻る・お気に入り等）を使える。(モA21-2-110)</li> <li>■必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造</li> <li>目的や視点を明確にして、情報を集めることができる。(モA21-3-040)</li> <li>他の情報と比較しながら、必要な情報を集めることができる。(モA21-3-050)</li> <li>複数のWebページを比較して、必要な情報を探し出す。(モA21-3-070)</li> </ul> <p>[態度] ■情報モラルの必要性や情報に対する責任</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他人の情報を利用するときは、誰の情報かをきちんと書く（必要なら許可を得る）。(モC31c3-030)</li> </ul>	
活用する主なICT機器等	<p>■コンピュータ ■実物投影機（教材提示装置、書画カメラ） ■プロジェクタ</p> <p>■インターネット</p>		
本時の概要	<p>調べ学習の際に、インターネットを活用した情報収集を通して、ブラウザの操作方法や検索の仕方などの基本操作を身に付けさせる。また、引用する際の注意点などにも触れ、情報モラルにも気を付けさせる。</p>		
本時の流れ	主な学習活動		ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用，◎：児童生徒の活用)
	導入	<ol style="list-style-type: none"> <li>学習課題を確認する。</li> <li>インターネットを使った検索の仕方について知る。</li> </ol>	<p>○ 実際にコンピュータの画面を全体で確認しながら進められるよう、画面を印刷した配布物を用意し、さらに、プロジェクタを使って示す。</p> <p>※ ブラウザの基本機能（リンク・戻る・お気に入り等）やキーワード検索の方法を確実に身に付けさせる。</p> <p>※ 情報モラルについて確認させる。</p>
	展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>インターネットや文献等を参考に、調べる。</li> </ol>	<p>◎ インターネットで調べさせる。</p> <p>※ 児童が興味をもちそうな人物（職業）等については、あらかじめ把握しておく。</p> <p>※ 不適切なページへ行き着く可能性もあるため、机間指導を行い、適切に助言する。</p> <p>※ 調べた情報を丸写しすることなく、適切に引用する方法等についても指導する。</p>
	終末	<ol style="list-style-type: none"> <li>調べたことをまとめる。</li> <li>発表する。（中間発表）</li> </ol>	<p>○ 実物投影機を活用し、児童一人一人のノートに記録（メモ）したものを提示させる。</p> <p>※ メモの上手なまとめ方などを全体で共有させる。</p>
使用した教材・資料 (コンテンツ)	<p>○名称・出典・内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Yahoo!きっず</li> </ul> <p>〈内容〉インターネットの情報検索や、図鑑、食育、ゲームなど安全に楽しく学べるサービスを提供している、子ども向けポータルサイトである。</p>		
ICT活用の指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボードを利用した文字の入力が少しずつできるようになった段階から、検索サイトを用いて、目的とするWebページなどを閲覧し、情報収集できるようにする。</li> <li>インターネットを活用させていく中で、ネットワーク上のルールやマナーを守ることの意味、情報には自他の権利があることなどについて考えさせ、理解させていくことが必要である。</li> </ul>		
備考	<p>○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルやマナーを身に付け、適切な情報を収集したり発信したりできるようになる。</li> <li>いろいろな情報の中から正しい情報を選び出すことができるようになる。</li> </ul>		

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の実践力」→ [実践], 「情報の科学的な理解」→ [理解], 「情報社会に参画する態度」→ [態度]  
「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号